

まずは、単元のねらいと評価規準を設定しましょう

ねらい・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。

(知識及び技能)(2)ア

- 伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。(思考力、判断力、表現力等) B(1)イ
- 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。(思考力、判断力、表現力等) B(1)ウ
- 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。(学びに向かう力、人間性等)

評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 (2)ア	・「書くこと」において、伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 B(1)イ ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 B(1)ウ	・積極的に根拠の適切さを考え、学習の見通しをもって、説得力のある文章を書こうとしている。

つぎに、ゴールを見据えて単元を構想しましょう

単元の指導と評価の計画

(●…指導に生かす評価 ○…記録に残す評価)

時間	主な学習活動など	知	思	態
1 2	単元の学習について見通しをもつ。 教科書の例(バス停までの道のり)における二つの意見の根拠について、複数の観点から考える。	●	●	
3	「修学旅行で京都・奈良に行けない場合の、旅行先の代案を提案しよう」について、自分の立場を明確にし、意見を支える根拠について多様な視点から考えるとともに、その根拠が適切かどうか吟味する。	○	●	
4	前時で考えた根拠について、同じ立場の班や異なる立場の班で吟味し合い、意見を支えるための、より適切な根拠を考える。		●	●
5	前時で吟味した根拠を基に説得力のある意見文を書く。		●	
6	根拠の適切さや考えが伝わる文章になっているか等の観点から意見文を読み合い、評価することで自分の文章の工夫点やよさについて考える。		○	○
7	意見文を基に、「修学旅行先のプレゼン」をする。		○	○

単元の見通し

「修学旅行で京都・奈良に行けない場合の、旅行先の代案を提案しよう」という言語活動と、「分かりやすい文章を構成する力を育成する」という単元で身に付ける力を生徒と共有することで、単元全体の見通しをもてるようにします。生徒にとって必要感のあるテーマを設定することで、目的意識が明確になり、生徒の主体的な学びにつながるようにします。



ICTの活用

本単元では、常に相手意識をもちながら文章を構成する力を育成します。より多くの友達から、意見文を見直すための助言をもらう手立てとして、Teamsを共有の場として生徒に提供し、Excelの共同編集機能(コメント)で意見を共有できるようにします。このことにより、多くの観点から文章の構成や展開を工夫する力が育成できると考えます。

授業の一例を見てみましょう（4／7時）

本時のねらい 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えるなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。

本時では、Excel で作成したワークシートを用いて、旅行先を選んだ根拠について吟味する学習活動を行います。共同編集機能を活用した話し合いの場面では、複数の友達からの意見を即時に確認しながら、その意見について話し合うことで、自身の根拠をさらに吟味していきます。

学 習 活 動

- ① 前時を振り返り、本時のめあてと学習内容を確認する。

他者に伝わりやすい、説得力のある根拠になっているか吟味しよう。

- ② 個人で考えた根拠をもち寄り、班の根拠を吟味する。

・同じ旅行先を考えた生徒同士で班を編成し、個人が考えた根拠の中から班の主張を支える根拠としてふさわしいものを選ぶ。

- ③ 異なる旅行先を選んだ班の根拠について考える。

・自分の班と異なる立場の根拠についてタブレット上で共有し、その根拠が適切かを吟味し、気付いたことをコメントする。
・自分の班に対するコメントについて確認し、根拠の弱さについて話し合い、より適切な根拠とは何かについて考える。

- ④ 本時を振り返る。

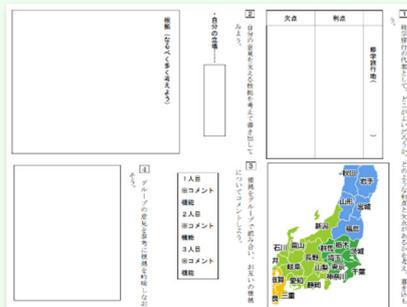
・Excel の共同編集機能で振り返りを入力するとともに、友達の振り返りを確認する。



本時の見どころはココ！

・Teams で全員のワークシートを閲覧できるようにすることで、たくさんの根拠に触れることができます。

・Excel の共同編集機能を使用することで、同じ班のワークシートを同時に編集し、共有を図りながら説得力のある根拠を考えることができます。



ぼくたちが選んだ場所には、歴史的な文化財が多いことをアピールしたいね。



・異なる旅行先を選んだ班の根拠について吟味し、根拠が適切かをコメントし合うことで、お互いのコメントを即時に確認でき、根拠を見直すことができます。



京都や奈良と同じくらい魅力的な文化財があることについて、もっと具体的に説明すれば、説得力が増すと思うよ。



生徒の振り返り

自分とは立場が違う人からのコメントがとても参考になりました。反対の意見の友達にも納得してもらえるような説得力のある根拠を示すことが大切だと実感しました。そのためには、根拠となる情報などを分かりやすい表現で伝えることが必要だと感じました。

最後に、単元を振り返り、生徒にどんな力が身に付いたか確認しましょう



生徒たちにとって必要感のあるテーマを設定したことで、単元の終わりまで学習意欲が持続し、主体的に取り組む姿が見られました。「書くこと」の単元では、友達と意見を共有しながら、自分の考えを広げたり深めたりする過程が重要だと考えます。ICTの活用により、より多くの友達と情報を共有することが可能となり、根拠の適切さを考えながら、自分の考えがより明確に伝わるよう工夫して書く力が身に付きました。